



令和7年2月10日
日本下水道事業団

埼玉県八潮市で発生した下水道管破損に関する支援状況について
～排水ポンプの設置・運用による支援を初めて実施～

日本下水道事業団（以下、ＪＳ）は、埼玉県の要請に基づき、陥没箇所への汚水の流量を減らすための取り組みを支援するため、災害対策用下水道機材の設置及び運用を行っています。

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管破損に関し、人命救助を優先して道路陥没現場への汚水の流量を極力減らすため、埼玉県では、事故現場の上流側のマンホールから中川水循環センターへの汚水移送等を実施しています。

ＪＳは、令和5年度から災害時の調査や機能復旧に必要な資機材等の整備を行っており、その取組みの一環として、高揚程に対応できる排水ポンプ等を整備しております。今回の事案に際して、埼玉県からの要請があったことから、排水ポンプの設置及び運用による支援を初めて実施することになりました。

埼玉県をはじめとする関係団体と連携し、早期復旧に向けた支援を引き続き実施して参ります。

<問い合わせ先>

日本下水道事業団 事業調整課長 新川 祐二
事業調整課 小林 将大
TEL：03-6892-2013

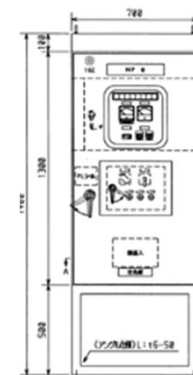
排水ポンプ(高揚程)の概要



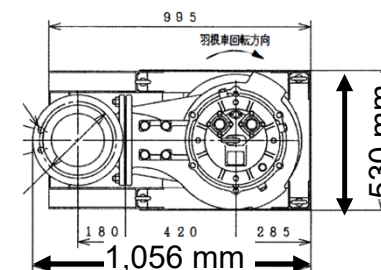
【排水ポンプ(高揚程)の仕様】

項目	仕様
型式	水中汚水ポンプ Φ200
吐出量	3 m ³ /min
揚程	25 m
電動機出力	22 Kw(内部冷却方式)
電圧	200 V × 50/60Hz兼用
台数	2 台

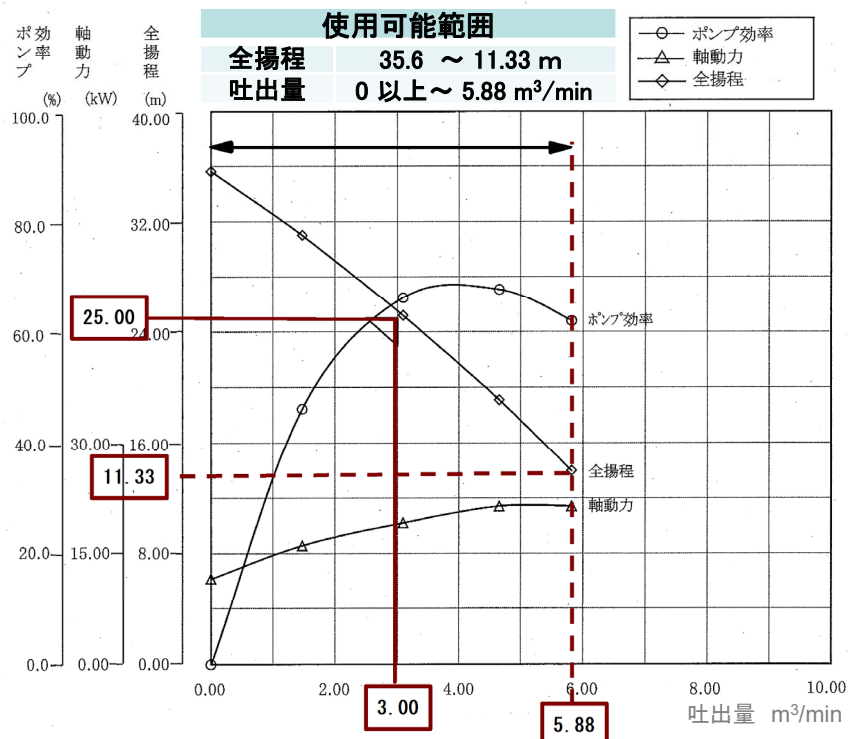
【排水ポンプ(高揚程)設置のイメージ】



吐出ホース等 動力制御盤



【平面図】



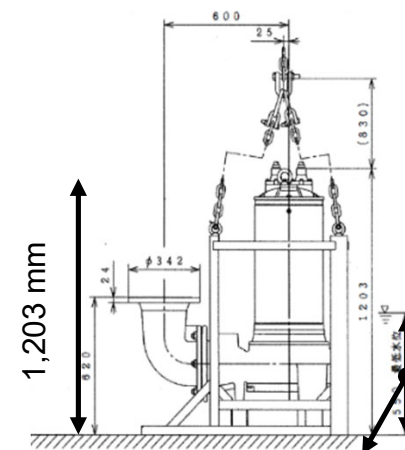
【ポンプ性能曲線】 全揚程—吐出量 m³/min(60Hz)



フロートスイッチ



(質量790kg)
【水中汚水ポンプ】



最低運転水位 550mm

【断面図】